

2 ご自宅の漏水にご注意を!

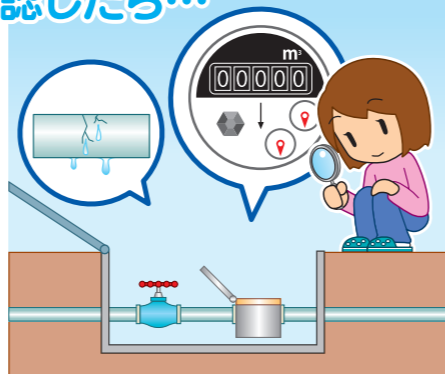
水道料金がいつもと比べて高いと思われたら…

まずメーター器のパイロットを確認してみてください。
パイロットは水を使っているときに回るようになっています。
確認するときに水道の蛇口を全部閉めてみて、水を使っていないのにパイロットが回っていたら、漏水していることになります。
検針員が漏水を確認したときや1.5倍以上の使用量の増加があったときは、検針時にお知らせしていますが、各ご家庭でもご注意ください。



宅地内(メーター器より宅地側)で漏水を確認したら…

佐世保市指定給水装置工事事業者(指定工事店)に連絡を取り、すみやかに修繕をお願いします。
(事業者の名簿を水道局ホームページに掲載しています。)
なお、メーター器より宅地内の水道管は、各ご家庭の管理になりますので、修繕費用はお客様のご負担となります。



一般のご家庭で漏水が疑われる箇所が不明な場合は、下記連絡先にご連絡いただければ漏水箇所を調査します。

漏水箇所調査の連絡先

※事業所の方は対象となりませんので、最寄りの指定工事店へご連絡ください。

業者名	担当地区	連絡先
佐世保上下水道管工事センター	佐世保市全域(下記を除く)	0956-24-6362
北部管工事業組合	吉井・世知原・小佐々・江迎・鹿町地区	0956-64-2527
宇久町管工事組合	宇久地区	0959-57-2201

水道料金の減免を受けるためには…

漏水の際の水道料金については、修繕完了後90日以内に水道局へ修繕報告書を提出していただければ減免を受けられる場合があります。詳しくはおたずねください。

なお、指定工事店ではない業者さんや個人で漏水を修繕された場合は、原則として減免制度が適用されませんのでご注意ください。

お問い合わせは

漏水関係については「水道維持課」
水道料金の減免については「営業課」へ



水道局だより

No.17
平成27年11月



佐世保市総合防災訓練の様子

9月1日の「防災の日」、佐世保市で大規模災害発生を想定した総合防災訓練が実施されました。

水道局も訓練に参加し、市内各地で水道管の破裂事故により断水状況が続いているという設定のもと、破裂した水道管の緊急復旧作業、広報車を使った住民への周知など、いざというときを意識した作業訓練を行いました。

目次

- 1 貴重な水道水を無駄にしないために
- 2 ご自宅の漏水にご注意を!

お問い合わせは

佐世保市水道局 ☎0956-24-1151(代表)各担当課へ

水道局ホームページアドレス

<http://www.city.sasebo.lg.jp/suidokyoku/index.html>

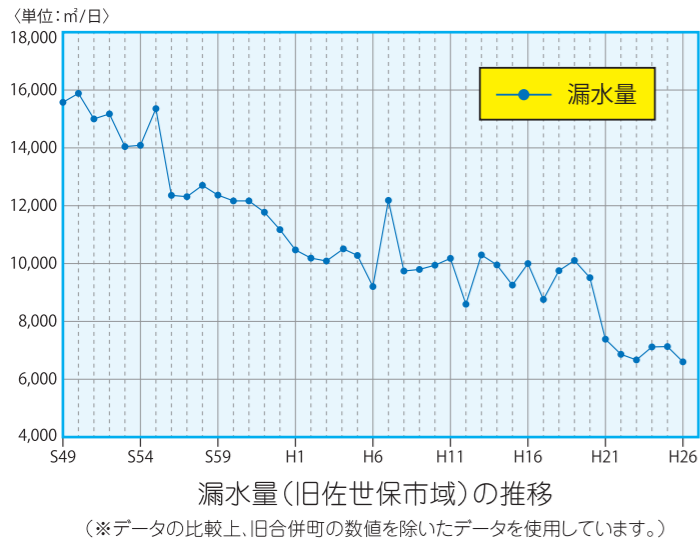
1 貴重な水道水を無駄にしないために ～漏水対策のはなし～

お問い合わせは
「水道維持課」へ

今回は、水道局の仕事の中でも重要課題のひとつである漏水対策について旧佐世保市域の事例を中心にご紹介します。

1 漏水の現状

漏水対策についてはこれまでも継続して行っており、下に示すとおり旧佐世保市域(※)の1日あたりの平均漏水量は、昭和49年当時と比べるとおよそ半分まで減少しています。しかしながら、漏水は地形的・歴史的な特徴により、なかなか改善が進まないのが実情です。貴重な水道水を無駄にしないために、今後も漏水対策を進めていく必要があります。



水道管からの漏水の様子

お願い 道路上で漏水を発見されたら、水道局までご連絡をお願いします。

原因 起伏のある地形

佐世保市の地形は山あり谷ありで、ポンプを使って高いところへ水をあげたり、高いところから低いところへ水を流したりしています。そのため、水道管自体に水圧がかかり、損傷しやすくなっています。



対策 減圧対策の推進

高水圧の対策として、水圧を下げる減圧弁を設置して水圧を調整しています。また、給水地区を細かく分けて水圧を適正に保ち、漏水の発見も容易になる「配水のブロック化」に取り組んでいます。



減圧弁設置工事の様子

2 漏水の原因と対策

漏水の原因と現在行っている漏水への取り組みについてご紹介します。

原因 水道管の老朽化

佐世保市は、明治40年9月に水道管による給水を開始しました。これは、日本で10番目の早さになります。そのため、これまでも水道管の交換は行っていますが、古い管がまだ残った状態になっています。



昔の様子

対策 古くなった水道管の計画的な交換

古くなった水道管を新しい水道管に取り替える工事を計画的に行っています。また、新しい水道管は、さびを防止し、耐震性を備えた水道管を採用して、にごり水の改善や漏水防止を進めています。



工事の様子

原因 水道管の輻輳

佐世保市は、急速な街の発展に対応するように、水道管をそのつど整備してきたため、現在の水道管はとても複雑に入り組んでいます。その結果、浄水場から各ご家庭までの水道管の延長も約1,600km(佐世保から北海道くらいまで)と、とても長くなっています。

漏水調査にご協力をお願いします

漏水調査は、漏水探知機を用いて、わずかな漏水音を聞きとらなければならないため、主に深夜に行っています。調査員は、水道局発行の身分証明書を携帯し、腕章をつけて調査していますので、みなさまのご理解とご協力をよろしくお願いします。なお、ご不審に思われた場合は、水道局までお問い合わせください。



対策 漏水調査

管路が複雑に整備されているので、佐世保市全体の管路の計画的な交換や減圧対策を完了するまでには時間がかかります。漏水をできる限り少なくするために、水道局では漏水調査を行うことで、きめ細やかな漏水対策も行っています。



漏水調査の様子

音聴棒(おんちょうぼう)という細長い金属棒や漏水探知機など特殊な漏水調査機器を用いて調査を行っています。